



自衛隊栃木地方協力本部

帰郷広報で、イベント支援・市街地広報！ 「募集って大変ですね?!」



鮎のつかみ取り広報ブースで募集説明の様子



事務所前で所長と記念撮影をする高根澤士長



有名な西那須野駅での牛のポストの前で、待機の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、帰郷広報を利用して、北海道から栃木に帰省した高根澤龍希士長（第6即応機動連隊・美幌駐屯地）の支援を受け、市街地広報や広報展を行った。

高根澤士長は、那須塩原市出身・那須高校卒業の入隊3年目の隊員で、宇都宮駐屯地で新隊員教育を受け、現在は北海道美幌駐屯地で勤務している。当時、入隊まで導いてくれた広報官への感謝を込めて、那珂川町「鮎のつかみ取り」広報展（8月11日）と西那須野駅市街地広報（8月15日）と2日間支援してくれた。

広報展においては、制服試着支援や来場者からの「一緒に写真撮ってください」とのリクエストに対応したりと積極的に活動していた。また、西那須野駅での市街地広報では、200個のティッシュ・募集チラシ配布を行い、なかなか受け取ってもらえないティッシュに「広報官の仕事は、大変ですね〜。話を聞いてもらうのは、もっと大変ですね〜」と語っていた。大田原地域事務所長の高井1尉は、大田原管内から入隊して、頑張っている姿に感心するとともに、今後も地域活動での協力を依頼した。

大田原地域事務所は、「今後も、地元出身の隊員の協力を依頼して、帰郷広報を積極的に募集活動に活かして行きたい」としている。



記念写真をリクエストされる高根澤士長



記念写真をリクエスト（鮎のつかみ取り広報展）

西山2士、事務所来訪・帰省と近況報告 新潟救難で施設の工事



事務所の前で記念撮影
左：西山2士 右：平井1曹

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）に、8月15日（木）、西山 潤2士（さくら市出身）が自衛隊入隊後初めて、来訪した。

西山2士は今年度4月に航空自衛隊熊谷基地に入隊し、教育隊卒業後は新潟救難隊基地業務小隊（新潟分屯基地）に配置され、現在は施設員として勤務を始めたところである。今回の事務所訪問で、西山2士は、入隊当時を振り返り懐かしむ姿も見られた。広報官平井1空曹は、同じ航空自衛隊の先輩として、後輩たちが凛々しく成長する姿に感動を覚えるとともに、今後も頑張ってもらいたいと激励した。

西山2士は、今後、第3術科学校（芦屋基地）で、施設員としての職種の教育を受ける予定であり、「これからも勉強も運動も頑張りたい、成長するよう努力します〜！」と熱く話してくれた。

大田原地域事務所は「今後も、入隊者に対し継続的にアフターフォローをしていくとともに、入隊者の生の声を発信する広報で活動していきたい」としている。